

令和2（2020）年度10月期入学

金沢大学大学院人間社会環境研究科
（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

令和2（2020）年5月

（注意）

出願する入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。



学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

人間社会環境研究科博士後期課程の人材養成目的は、人間社会環境という多分野横断的な研究領域で活躍できる創造性豊かな大学教員、研究者及び高度専門職業人を育成することです。

したがって、本専攻では、それぞれの伝統的な学問分野における高い専門能力を持つだけでなく、それを基礎に置きながら、総合性を生かした視点から先端的な研究をさらに進めるため、他者に対する開かれた態度、異文化を尊重する広い心、それらに対する積極的な興味、未知の現象に対する柔軟な発想、そして論理性への強い志向を備えている者を求めています。

そのために入学時に身につけているべき能力として、適確に研究課題を設定し、着実に研究を遂行する計画立案能力、堅実な成果を可能にする研究技法、成果をとりまとめ分析考察して論文にまとめる論文作成能力を求めます。

令和2（2020）年度10月期入学
金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士後期課程）
学 生 募 集 要 項
一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

本募集要項（英語版）を人間社会環境研究科Webサイト（英語版）に掲載しています。

http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/en/admissions/adm_doctor/



1. 募 集 人 員

専 攻 名	募 集 人 員
	一般選抜， 社会人特別選抜， 外国人留学生特別選抜
人間社会環境学専攻	若干名

2. 出 願 期 間

- (1) 令和2（2020）年6月12日（金）から6月18日（木）まで
- (2) 窓口の受付時間は、午前9時から午後5時までです（土日を除く）。
- (3) 郵送による場合は、6月18日（木）までに必着とします。ただし、締切日を過ぎて到着したものは、締切日前日6月17日（水）までの発信局（国内に限る）日付印のある書留速達郵便に限り受理します。

3. 試 験 日 時（一般選抜， 社会人特別選抜， 外国人留学生特別選抜）

試 験 日	試 験 科 目	試 験 時 間
令和2（2020）年 7月10日（金）	口述試験	午前9時30分～午後5時45分 ※上記時間内で指定する時間（1時間）

※口述試験開始時刻の20分前までに、受験者控室に集合してください。

4. 合 格 者 発 表

令和2（2020）年7月29日（水） 午前10時

合格者の受験番号を本学所定の掲示板（人間社会第2講義棟学生課前掲示板）に掲示するとともに、下記Webサイトに掲載します。

また、合格者には合格通知書を送付します。

なお、電話、電子メール等による可否の問合せには一切応じません。

金沢大学人間社会環境研究科Webサイト

<http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



5. 出 願 資 格

各選抜に出願することができる者は、下表の①～⑧各号のいずれかに該当する者とします。

その他、下記選抜においては、上記に加えて次の出願資格を満たす必要があります。

社会人特別選抜：(7)(イ)のいずれかを満たす者

(7) 官公庁、企業、事務所、団体、学校等に在職中であり、かつ、在職のまま後期課程の修了を目指す者

(イ) 修士の学位又は専門職学位を有し、入学時において学位取得後3年を経過している者

外国人留学生特別選抜：日本国籍を有しない者

出願資格（一般選抜， 社会人特別選抜， 外国人留学生特別選抜）	
①	修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和2（2020）年9月30日までに取得見込みの者
②	外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和2（2020）年9月30日までに授与見込みの者
③	我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和2（2020）年9月30日までに授与見込みの者
④	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和2（2020）年9月30日までに授与見込みの者
⑤	国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和2（2020）年9月30日までに授与見込みの者
⑥	文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号） 大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、本研究科において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
⑦	本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2（2020）年9月30日までに24歳に達するもの
⑧	外国の学校、上記③の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び令和2（2020）年9月30日までに合格見込みの者で、本研究科において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの

※出願資格 ⑥～⑧ により出願を希望する者は、出願に先立ち、出願資格審査を行いますので、3ページの出願資格審査を参照してください。

※「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」制度について

本研究科では、在職者等必要がある者に対して、「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」の制度があります。この制度を利用することで、人間社会環境研究科規程等に定められた教育課程に基づき、担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

制度の適用について、入学志願票の14条特例希望欄にチェックしてください。

また、受験承諾書（所定の用紙）を提出してください。

参 考：大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）「抄」

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

なお、同第2条の2（専ら夜間において教育を行う大学院の課程）には該当しません。

本研究科は昼夜開講制です。

出願資格審査

出願資格⑥～⑧により出願を希望する者は、出願に先立ち、出願資格の審査を行いますので、事前にお問合せの上、「6. 出願手続」に示す所定の提出書類（入学検定料振込金証明書を除く。）を令和2（2020）年5月22日（金）午後5時（必着）までに本学人間社会系事務部学生課入試係へ提出してください。

なお、郵送の場合は、封筒の表に「博士後期課程 出願資格審査関係書類在中」と朱書きしてください。

出願資格審査の結果は6月上旬に送付します。資格有りの場合、出願資格審査時に提出した書類を出願書類として受領します。出願手続として、入学検定料を納入の上、出願期間中に入学検定料振込金証明書（大学提出用）を本学人間社会系事務部学生課入試係へ提出してください。

6. 出願手続

(1) 募集要項（PDF）及び出願書類（PDF, Excel）は、**本研究科Webサイトに掲載しております**。出願書類はWebサイトからダウンロード・印刷（A4サイズ）してご利用ください。なお、各書類への記入は、パソコン入力又はボールペンによる自筆で行ってください。

※本研究科Webサイト（http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/admissions/adm_doctor/）



(2) 志願者は、出願期間内に、次の書類等を本学人間社会系事務部学生課入試係へ持参又は郵送により提出してください。

(3) 出願書類を郵送するときは、「書留速達便」とし、封筒の表に「博士後期課程入学願書在中」と朱書きしてください。

送付先 〒920-1192 石川県金沢市角間町
金沢大学人間社会系事務部学生課入試係

提出書類等	摘 要
入学志願票	<p>本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用（3ページ参照）の適用を希望する者は、14条特例適用希望欄にチェックしてください。 長期履修制度（7ページ参照）の申請を希望する者は、長期履修制度申請希望欄にチェックしてください。 改姓されている場合は、改姓後の氏名を記載願います。（旧姓での記載をしないでください。）</p>
受験票	<p>本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。</p>
写真	<p>2枚（出願前3か月以内に、上半身、脱帽、正面向き無背景で撮影したものを入学志願票及び受験票の所定の欄に貼付してください。）</p>
<p>入学検定料 振込金証明書 (大学提出用)</p> <p>※学内進学者 (本学の大学院博士前期課程又は修士課程を修了し、引き続き本研究科に進学する者) 及び国費外国人留学生は入学検定料の納入は不要です。</p>	<p>入学検定料30,000円 (納入方法) 本学所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局は不可）の窓口で納入してください。振込手数料は志願者負担となりますが、北陸銀行の本・支店から振り込む場合は、手数料はかかりません。 納入後、取扱金融機関領収印が押されていることを確認し、「振込金証明書(大学提出用)」を入学志願票の裏面に貼付してください。(銀行領収印がない場合は願書を受理しません。) また、「領収書(本人控)」は大切に保管してください。 (注) 1. 金融機関の窓口受付終了時刻までに納入してください。また、土・日・祝日は休業となりますので注意してください。 2. ATM(現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振り込まないでください。 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。ただし、入学検定料の振込後、出願しなかった場合は、返還手続を行うことができますので、下記担当まで連絡してください。 なお、返還手続の際は「領収書(本人控)」及び「入学検定料振込金証明書(大学提出用)」が必要になります。 担当：財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町 TEL:076-264-5066, E-mail:syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp</p>
<p>修了(見込) 証明書 (学位授与証明書)</p>	<p>(1) 出願資格の①～⑤により出願する者は、出身大学の大学院修士課程、博士前期課程又は専門職学位課程修了(見込み)証明書(修了証明書で、取得学位が確認できない場合は、学位授与証明書も提出)。 なお、本学大学院人間社会環境研究科博士前期課程修了(見込み)の者は提出不要です。 (2) 出願資格の⑥～⑧により出願する者は、最終学歴の学校長が作成した修了(見込み)証明書。 (注) 証明書は、日本語又は英語で作成されたものがが必要です。</p>
<p>学業成績証明書</p>	<p>(1) 出願資格の①～⑤により出願する者は、出身大学院の研究科長(又は学長等)が作成したもの。 (2) 出願資格⑥～⑧により出願する者は、最終学歴の学校長等が作成したもの。 (修得科目名及び単位数が記載されているもの) (注) 証明書は、日本語又は英語で作成されたものがが必要です。</p>
<p>出願資格⑧に関する書類</p>	<p>出願資格⑧により出願を希望する者のみ 出身大学長等が作成したもので、下記の内容が記載された文書及び添付書類(外国語の場合は日本語訳もしくは英訳を添付してください。) 【記載例】 □□大学としては、本学の学生である◇◇ ◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する次の添付資料を同封します。</p>

	<p>【添付書類の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該審査の合格基準 ・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す書類 <p>当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す書類</p>
提出論文等	<p>(1) 出願資格：①～⑤により出願する者は、修士論文（又は修士論文に代わる論文）の写しを3部提出してください。</p> <p>(2) 出願資格：⑥～⑧により出願する者は、研究論文、大学卒業後の教育・研究機関や地方自治体、企業等における調査研究報告書等又はその写しを3部提出してください。（共同執筆の場合は、志願者の執筆担当箇所を明示してください。）</p> <hr/> <p>(1)及び(2)ともに、日本語（1,000字程度）又は英語（300ワード程度）による論文の概要を3部添付してください。</p> <p>なお、すでに公表した研究論文等があれば、研究業績リスト（本学研究科所定の様式による。）にすべてを記載し、かつ、その中で特に主要なものの別刷又はその写しを3部添付してください。</p> <p>また、未公表の研究論文等を審査のための参考資料として提出することも可とします。その場合は、提出する参考資料のリスト（様式自由）を作成し、参考資料又はその写しを3部提出してください。</p>
研究計画書	<p>(1) 本研究科所定の様式によること。 （外国人留学生特別選抜の者は、これまでの研究経過及び本研究科における研究計画等について具体的に記入してください。）</p> <p>(2) 志願者は、出願前に必ず主任指導予定教員の承諾を得てください。</p>
受験承諾書 （社会人特別選抜のみ提出）	<p>在職のまま出願する者は、受験承諾書（所定の用紙）を提出してください。</p> <p>なお、出願時に提出できない場合は、入学手続き時に承諾書等を提出することとなります。</p>
その他 （外国人のみ提出）	<p>外国人の志願者は、次の書類を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パスポート（本人の氏名、生年月日、性別）の写し <p>なお、日本に在留する外国人は、次の書類も併せて提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○在留カード（表・裏）の写し
あて名票	<p>本研究科所定の用紙に郵便番号・住所・氏名等必要事項を記入してください。</p>
受験票等送付用封筒	<p>市販の長形3号封筒（120mm×235mm）に受信場所・氏名を明記し、郵便切手384円（速達）を貼付してください。</p>

- 《注》1. 証明書等の氏名が入学願書等に記載する氏名と異なる場合（改姓している場合等）には、改姓等の事実が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。
2. 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
3. 出願手続後の書類の変更、入学検定料の払戻し、提出書類の返却はしません。
4. 出願書類等に虚偽の記載又は不正な申告があったときは、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- また、その場合、振り込まれた入学料については返納しません。

7. 受験票の送付

受験票について、令和2（2020）年7月2日（木）までに到着しない場合は、本学人間社会系事務部学生課入試係にお問い合わせください。

8. 障がいのある者等の事前相談

入学志願者で、障がい等があり、受験及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、令和2（2020）年5月22日（金）までに次の書類を本学人間社会系事務部学生課入試係に提出し、相談してください。

(1) 出願に伴う事前相談書（次の事項について記載したもの。様式は自由）

- ・ 氏名，住所，連絡先，志望コース名
- ・ 障がいの種類・程度
- ・ 受験及び修学に配慮を希望する事項
- ・ 大学等で配慮されていた事項
- ・ 日常生活の状況
- ・ その他参考となる事項

(2) 医師の診断書

(3) その他の参考書類等（障害者手帳の写し等）

9. 入学者選抜方法

一般選抜，社会人特別選抜，外国人留学生特別選抜

選抜は、口述試験，研究計画書，提出論文等及び出願書類の審査結果を総合して行われます。

口述試験 修士論文等（又は概要，研究論文，調査研究報告書等）及び研究計画書を中心に行います。

研究上必要な外国語の能力を問うことがあります。

なお、社会人特別選抜において、研究上必要な外国語能力のほか、社会経験を生かした専門知識を問うことがあります。

また、外国人留学生特別選抜において、研究上必要な場合は、日本語の能力も問うことがあります。

10. 試験場

石川県金沢市角間町 金沢大学大学院人間社会環境研究科（詳細は受験票送付時に通知）

11. 入学手続等

(1) 入学手続

合格者発表後に送付する「大学院入学手続要項」により、所定の期日までに入学手続を行ってください。

なお、海外在住の外国人留学生は、合格後に銀行口座残高証明書（残高100万円以上）の提出が求められます（在留資格認定証明書（COE）交付申請のため）。

(2) 授業料等納付金

ア. 入学料 282,000円（予定）

本学大学院博士前期課程・修士課程修了後、引き続き博士後期課程に進学する者及び国費外国人留学生は、入学料の納入は不要です。

イ. 授業料（半期分） 267,900円（予定） [年額 535,800円（予定）]

《注》 1. 上記の納付金額は予定額であり、入学時又は在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

2. 授業料の納入は、預金口座振替（届出口座）から指定日に自動引落により納入する方法）となっています。

3. 国費外国人留学生は、授業料の納入は不要です。

ウ. 学生教育研究災害傷害保険料及び学研災付帯賠償責任保険料 3,620円（3年分）

なお、外国人留学生へは学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総）への加入を強く推奨します。

12. 個人情報保護

金沢大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出する書類に記載されているすべての個人情報は、当該研究科の学生募集要項で明示した利用目的のほか、次の業務で利用します。

(1) 入学選抜及び入学手続に関わる業務

(2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務

(3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務

(4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務

(5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務

(6) 入学選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務

(7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務

(8) 卒業・修了者に対する学修成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務

(9) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

13. 参 考 資 料

入学年度	人間社会環境学専攻		
	入学志願者数	合格者数	入学者数
2012年度（4月期）	11	10	10
2012年度（10月期）	6	6	6
2013年度（4月期）	19	14	14
2013年度（10月期）	3	3	3
2014年度（4月期）	24	13	13
2014年度（10月期）	4	2	2
2015年度（4月期）	20	15	13
2015年度（10月期）	2	2	2
2016年度（4月期）	25	15	14
2016年度（10月期）	3	2	2
2017年度（4月期）	25	17	15
2017年度（10月期）	8	8	2
2018年度（4月期）	16	11	11
2018年度（10月期）	4	4	4
2019年度（4月期）	13	13	12
2019年度（10月期）	1	1	1
2020年度（4月期）	16	11	11

長期履修

■ **仕事や育児などを続けながら履修できます。**（在留資格が「留学」の外国人留学生適用できません。）

人間社会環境研究科では、仕事あるいは家事、育児、介護等に従事している人たちのために、長期履修制度を設けています。この制度を利用すれば、学則に規定される在学年限の範囲内（原則として博士後期課程6年）で、長期履修期間を設定することができます。これによって、社会人の方のさまざまな学修需要に対応し、多様で柔軟な学修機会を提供します。

なお、授業料は標準修業年限分（博士後期課程は3年）を長期履修期間に分けて納めます。

14. 金沢大学独自の奨学金制度

金沢大学は外国人留学生を対象として、奨学金制度を設けています。
詳しくは以下のWebサイトをご覧ください。

<https://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ie/e/abroad/scholarship.html>



15. 自然災害により被災された志願者の皆さんへ

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学のを確保するため、入学検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細につきましては、金沢大学（入試情報）Webサイトを確認してください。

金沢大学（入試情報）Webサイト：<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



入学検定料の免除を希望される方は、出願前に本学学務部入試課までご連絡ください。
連絡先 TEL：076-264-5180 E-mail：nyushi-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp

人間社会環境学専攻
授業科目及び担当教員

■人文学コース

現代思想研究Ⅰ・Ⅱ	山本 英輔
現代思想演習Ⅰ・Ⅱ	山本 英輔
比較思想文化論Ⅰ・Ⅱ	三浦 要
比較思想文化論演習Ⅰ・Ⅱ	三浦 要
人間行動発生論Ⅰ・Ⅱ	小島 治幸
人間行動発生論演習Ⅰ・Ⅱ	小島 治幸
学習行動論Ⅰ・Ⅱ	谷内 通
学習行動論演習Ⅰ・Ⅱ	谷内 通
人格・発達論Ⅰ・Ⅱ	岡田 努
人格・発達論演習Ⅰ・Ⅱ	岡田 努
発達障害評価・支援論Ⅰ・Ⅱ	吉川 一義
発達障害評価・支援論演習Ⅰ・Ⅱ	吉川 一義
コミュニケーション支援論Ⅰ・Ⅱ	武居 渡
コミュニケーション支援論演習Ⅰ・Ⅱ	武居 渡
臨床発達論Ⅰ・Ⅱ	滝口 圭子
臨床発達論演習Ⅰ・Ⅱ	滝口 圭子
比較社会意識論Ⅰ・Ⅱ	轟 亮
比較社会意識論演習Ⅰ・Ⅱ	轟 亮
計量社会学Ⅰ・Ⅱ	小林 大祐
計量社会学演習Ⅰ・Ⅱ	小林 大祐
社会階層論Ⅰ・Ⅱ	岩本 健良
社会階層論演習Ⅰ・Ⅱ	岩本 健良
共生社会環境論Ⅰ・Ⅱ	南 相璽
共生社会環境論演習Ⅰ・Ⅱ	南 相璽
産業空間論Ⅰ・Ⅱ	宇根 義己
産業空間論演習Ⅰ・Ⅱ	宇根 義己
農村空間論Ⅰ・Ⅱ	吉田 国光
農村空間論演習Ⅰ・Ⅱ	吉田 国光
社会環境論Ⅰ・Ⅱ	中島 弘二
社会環境論演習Ⅰ・Ⅱ	中島 弘二
歴史認識・社会認識教育論Ⅰ・Ⅱ	村井 淳志 ●
歴史認識・社会認識教育論演習Ⅰ・Ⅱ	村井 淳志 ●
日本中世文化史Ⅰ・Ⅱ	黒田 智
日本中世文化史演習Ⅰ・Ⅱ	黒田 智
日本中世宗教史Ⅰ・Ⅱ	平瀬 直樹 ●
日本中世宗教史演習Ⅰ・Ⅱ	平瀬 直樹 ●
日本近世文化史Ⅰ・Ⅱ	山本 洋
日本近世文化史演習Ⅰ・Ⅱ	山本 洋
日本近現代都市社会史Ⅰ・Ⅱ	能川 泰治
日本近現代都市社会史演習Ⅰ・Ⅱ	能川 泰治
東アジア古代史論Ⅰ・Ⅱ	安部総一郎
東アジア古代史論演習Ⅰ・Ⅱ	安部総一郎
東アジア国際交流史論Ⅰ・Ⅱ	古畑 徹
東アジア国際交流史論演習Ⅰ・Ⅱ	古畑 徹
アジア社会構造論Ⅰ・Ⅱ	古市 大輔
アジア社会構造論演習Ⅰ・Ⅱ	古市 大輔
地中海社会史論Ⅰ・Ⅱ	根津由喜夫
地中海社会史論演習Ⅰ・Ⅱ	根津由喜夫
ヨーロッパ中近世社会史論Ⅰ・Ⅱ	田中 俊之
ヨーロッパ中近世社会史論演習Ⅰ・Ⅱ	田中 俊之

ヨーロッパ近世史論 I・II	石黒 盛久
ヨーロッパ近世史論演習 I・II	石黒 盛久
東西文化交流史論 I・II	足立 拓朗
東西文化交流史論演習 I・II	足立 拓朗
言語構造類型論 I・II	入江 浩司
言語構造類型論演習 I・II	入江 浩司
言語構造論 I・II	新田 哲夫 ●
言語構造論演習 I・II	新田 哲夫 ●
言語科学論 I・II	堀田 優子
言語科学論演習 I・II	堀田 優子
言語認知科学実験法 I・II	安永 大地
言語認知科学実験演習 I・II	安永 大地
認知言語論 I・II	渋谷 良方
認知言語論演習 I・II	渋谷 良方
応用言語学 I・II	松田真希子
応用言語学演習 I・II	松田真希子
社会言語論 I・II	西嶋 義憲 ●
社会言語論演習 I・II	西嶋 義憲 ●
対照言語学 I・II	守屋 哲治
対照言語学演習 I・II	守屋 哲治
日本語構造論 I・II	高山 知明
日本語構造論演習 I・II	高山 知明
日本語教育方法論 I・II	深澤のぞみ
日本語教育方法論演習 I・II	深澤のぞみ
日本民俗研究 I・II	清水 邦彦
日本民俗演習 I・II	清水 邦彦
日本現代言語文化論 I・II	杉山 欣也
日本現代言語文化論演習 I・II	杉山 欣也
アジア文化構造論 I・II	上田 望
アジア文化構造論演習 I・II	上田 望
ドイツ言語文化論 I・II	志村 恵 ●
ドイツ言語文化論演習 I・II	志村 恵 ●
ヨーロッパ言語文化論 I・II	阪上るり子
ヨーロッパ言語文化論演習 I・II	阪上るり子
フランス語圏文化論 I・II	粕谷 雄一 ○
フランス語圏文化論演習 I・II	粕谷 雄一 ○
フランス文学論 I・II	岩津 航
フランス文学論演習 I・II	岩津 航
比較先史文化論 I・II	中村 慎一 ●
比較先史文化論演習 I・II	中村 慎一 ●
中南米先史文化論 I・II	中村 誠一 ●
中南米先史文化論演習 I・II	中村 誠一 ●
古代エジプト文明論 I・II	河合 望
古代エジプト文明論演習 I・II	河合 望
仏教文化史 I・II	森 雅秀
仏教文化史演習 I・II	森 雅秀
アジア宗教建築史 I・II	矢口 直道
アジア宗教建築史演習 I・II	矢口 直道
地域社会変化論 I・II	西本 陽一
地域社会変化論演習 I・II	西本 陽一
文化人類学 I・II	アベ・デイヴィッド
文化人類学演習 I・II	アベ・デイヴィッド
現代人類学 I・II	田村うらら
現代人類学演習 I・II	田村うらら

美術史学Ⅰ・Ⅱ	菅原 裕文
美術史学演習Ⅰ・Ⅱ	菅原 裕文

※氏名欄右の○は、2022年3月に退職予定の教員です。

※氏名欄右の●は、2023年3月に退職予定の教員です。

■法学・政治学コース

法理学研究Ⅰ・Ⅱ	足立 英彦
法理学演習Ⅰ・Ⅱ	足立 英彦
東洋法制史研究Ⅰ・Ⅱ	中村 正人
東洋法制史演習Ⅰ・Ⅱ	中村 正人
日本法制史研究Ⅰ・Ⅱ	丸本由美子
日本法制史演習Ⅰ・Ⅱ	丸本由美子
外国法研究Ⅰ・Ⅱ	東川 浩二
外国法演習Ⅰ・Ⅱ	東川 浩二
憲法研究Ⅰ・Ⅱ	山崎 友也
憲法演習Ⅰ・Ⅱ	山崎 友也
行政法研究Ⅰ・Ⅱ	長内 祐樹/鶴澤 剛
行政法演習Ⅰ・Ⅱ	長内 祐樹/鶴澤 剛
税財政法研究Ⅰ・Ⅱ	平川 英子
税財政法演習Ⅰ・Ⅱ	平川 英子
国際法研究Ⅰ・Ⅱ	稲角 光恵
国際法演習Ⅰ・Ⅱ	稲角 光恵
刑法研究Ⅰ・Ⅱ	永井 善之
刑法演習Ⅰ・Ⅱ	永井 善之
刑事訴訟法研究Ⅰ・Ⅱ	大貝 葵/佐藤 美樹
刑事訴訟法演習Ⅰ・Ⅱ	大貝 葵/佐藤 美樹
社会保障法研究Ⅰ・Ⅱ	石田 道彦
社会保障法演習Ⅰ・Ⅱ	石田 道彦
民法研究Ⅰ・Ⅱ	合田 篤子
民法演習Ⅰ・Ⅱ	合田 篤子
民事訴訟法研究Ⅰ・Ⅱ	福本 知行
民事訴訟法演習Ⅰ・Ⅱ	福本 知行
商法研究Ⅰ・Ⅱ	村上 裕
商法演習Ⅰ・Ⅱ	村上 裕
経済法研究Ⅰ・Ⅱ	洪 淳康
経済法演習Ⅰ・Ⅱ	洪 淳康
国際私法・国際取引法研究Ⅰ・Ⅱ	羽賀由利子
国際私法・国際取引法演習Ⅰ・Ⅱ	羽賀由利子
知的財産法研究Ⅰ・Ⅱ	大友 信秀
知的財産法演習Ⅰ・Ⅱ	大友 信秀
公共政策論研究Ⅰ・Ⅱ	木村 高宏
公共政策論演習Ⅰ・Ⅱ	木村 高宏
政策過程論研究Ⅰ・Ⅱ	河合 晃一
政策過程論演習Ⅰ・Ⅱ	河合 晃一
計量政治学研究Ⅰ・Ⅱ	岡田 浩
計量政治学演習Ⅰ・Ⅱ	岡田 浩
政治思想史研究Ⅰ・Ⅱ	仲正 昌樹
政治思想史演習Ⅰ・Ⅱ	仲正 昌樹
国際政治史研究Ⅰ・Ⅱ	宋 安鍾
国際政治史演習Ⅰ・Ⅱ	宋 安鍾
環境政策論研究Ⅰ・Ⅱ	大野 智彦
環境政策論演習Ⅰ・Ⅱ	大野 智彦

現代中国研究Ⅰ・Ⅱ	古泉 達矢
現代中国演習Ⅰ・Ⅱ	古泉 達矢
国際関係論研究Ⅰ・Ⅱ	中野 涼子
国際関係論演習Ⅰ・Ⅱ	中野 涼子

※氏名欄右の○は、2022年3月に退職予定の教員です。

※氏名欄右の●は、2023年3月に退職予定の教員です。

■社会経済学コース

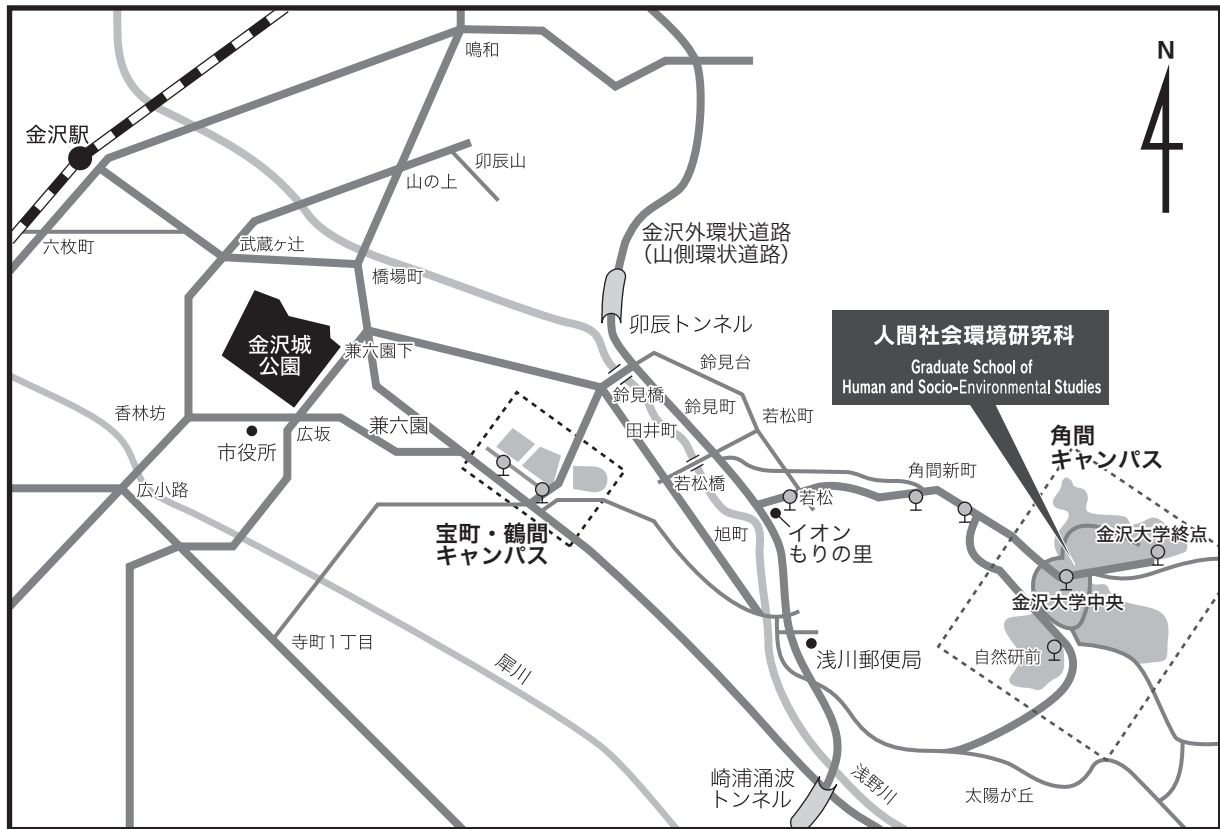
上級経済統計学Ⅰ・Ⅱ	星野 伸明
上級経済統計学演習Ⅰ・Ⅱ	星野 伸明
近現代日本経済史Ⅰ・Ⅱ	小林 信介
近現代日本経済史演習Ⅰ・Ⅱ	小林 信介
アジア社会経済史Ⅰ・Ⅱ	弁納 才一
アジア社会経済史演習Ⅰ・Ⅱ	弁納 才一
経済発展論Ⅰ・Ⅱ	正木 響
経済発展論演習Ⅰ・Ⅱ	正木 響
国際貿易論Ⅰ・Ⅱ	加藤 篤行
国際貿易論演習Ⅰ・Ⅱ	加藤 篤行
開発経済学Ⅰ・Ⅱ	和田 一哉
開発経済学演習Ⅰ・Ⅱ	和田 一哉
金融システム論Ⅰ・Ⅱ	加藤 峰弘
金融システム論演習Ⅰ・Ⅱ	加藤 峰弘
国際金融関係論Ⅰ・Ⅱ	佐藤 秀樹
国際金融関係論演習Ⅰ・Ⅱ	佐藤 秀樹
新興国金融論Ⅰ・Ⅱ	塩谷 雅弘
新興国金融論演習Ⅰ・Ⅱ	塩谷 雅弘
財政学Ⅰ・Ⅱ	碓山 洋
財政学演習Ⅰ・Ⅱ	碓山 洋
自治体財政論Ⅰ・Ⅱ	武田 公子
自治体財政論演習Ⅰ・Ⅱ	武田 公子
観光情報学Ⅰ・Ⅱ	井出 明
観光情報学演習Ⅰ・Ⅱ	井出 明
地域経済システム論Ⅰ・Ⅱ	佐無田 光
地域経済システム論演習Ⅰ・Ⅱ	佐無田 光
エコロジー経済論Ⅰ・Ⅱ	市原あかね ●
エコロジー経済論演習Ⅰ・Ⅱ	市原あかね ●
社会福祉論Ⅰ・Ⅱ	森山 治
社会福祉論演習Ⅰ・Ⅱ	森山 治
上級社会保障論Ⅰ・Ⅱ	村上 慎司
上級社会保障論演習Ⅰ・Ⅱ	村上 慎司
福祉・医療社会学Ⅰ・Ⅱ	高橋 涼子
福祉・医療社会学演習Ⅰ・Ⅱ	高橋 涼子
社会システム論Ⅰ・Ⅱ	田邊 浩
社会システム論演習Ⅰ・Ⅱ	田邊 浩
コミュニティ政策論Ⅰ・Ⅱ	眞鍋 知子
コミュニティ政策論演習Ⅰ・Ⅱ	眞鍋 知子
国際障害学Ⅰ・Ⅱ	堤 敦朗
国際障害学演習Ⅰ・Ⅱ	堤 敦朗
経営情報戦略論Ⅰ・Ⅱ	白石 弘幸
経営情報戦略論演習Ⅰ・Ⅱ	白石 弘幸
経営科学Ⅰ・Ⅱ	寒河江雅彦
経営科学演習Ⅰ・Ⅱ	寒河江雅彦

会計記号システム論Ⅰ・Ⅱ	竹島 貞治
会計記号システム論演習Ⅰ・Ⅱ	竹島 貞治
財務分析論Ⅰ・Ⅱ	佐藤 清和
財務分析論演習Ⅰ・Ⅱ	佐藤 清和
オペレーションズマネジメント論Ⅰ・Ⅱ	柳 在圭
オペレーションズマネジメント論演習Ⅰ・Ⅱ	柳 在圭
マーケティングⅠ・Ⅱ	金間 大介
マーケティング演習Ⅰ・Ⅱ	金間 大介

※氏名欄右の○は、2022年3月に退職予定の教員です。

※氏名欄右の●は、2023年3月に退職予定の教員です。

金沢大学大学院人間社会環境研究科入学試験場案内略図



金沢大学大学院人間社会環境研究科へのアクセス

【路線バス利用】(北陸鉄道バス利用の場合)

J R 金沢駅兼六園口(東口)から北陸鉄道バス「金沢大学(角間)」行き乗車, 「金沢大学(終点)」

下車, 徒歩1分(人間社会第1講義棟まで)

※「金沢大学中央」で下車した場合は, 徒歩約5分(バス所要時間約40分)

【タクシー利用】

J R 金沢駅兼六園口(東口)から約30分

問合せ先

〒920-1192 石川県金沢市角間町
金沢大学人間社会系事務部学生課入試係

T E L 076 (264) 5600~5602

F A X 076 (234) 4167

E-mail n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学大学院人間社会環境研究科Webサイト

<http://human-socio.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

